

野菜導入(かぼちゃ、キャベツ) による(農)松屋の経営安定

平成27年2月3日

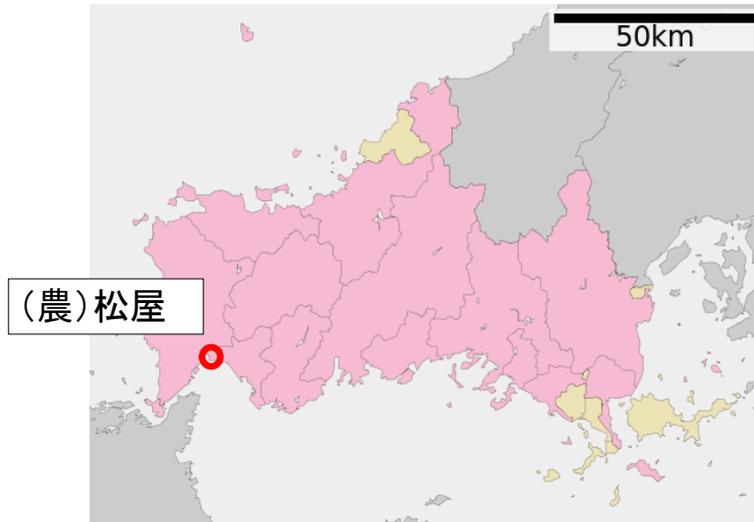
下関農林事務所 農業部 西村達也

(農)松屋の概要

- 住所 下関市大字工領開作144
- 設立 平成24年1月5日登記
- 組合員 105人(H26.2.25現在)
- 栽培作物 (単位:ha)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
水稲	61	61	70	75	75
飼料稲	1.3	2.3	2.6	2.6	2.6
かぼちゃ	0.5	0.6	0.3	0.3	1.0
キャベツ	0.5	0.7	1.1	0.7	1.1
ユリ球根	—	—	—	0.01	0.1

(農)松屋の位置図



普及活動の課題・目標

プロジェクト課題

- H24 集落営農法人の育成
- H25、H26 持続可能な経営体の育成

- 新たな集落営農法人の育成
- 設立間もない法人の経営安定



(農)松屋に対する活動

- 経営基盤の強化
水稲の生産安定、収量・品質の向上
- 労力の有効活用、収益部門の拡大
野菜の生産安定、花きの定着

- 新規就業者の確保育成(H25～)
- 新規就業者受入モデル法人の育成(H25～)

活動の内容(かぼちゃ1年目)

問題点の把握

- 排水不良
- 高水分での準備
- 仕立て方(放任)
- 不適切な管理



- 立地条件の検討
- 明渠、排水口連結
- 適湿での圃場準備
- 仕立て方(3本、同一方向)
- 作業手順(定植、追肥、防除)
- 売上目標の確認(72.2万円)

• 売上3万円

改善の提案

活動の内容(かぼちゃ2年目)

栽培支援

- 作業の実施状況把握
- 管理情報の発信



• 売上13万円

新たな提案

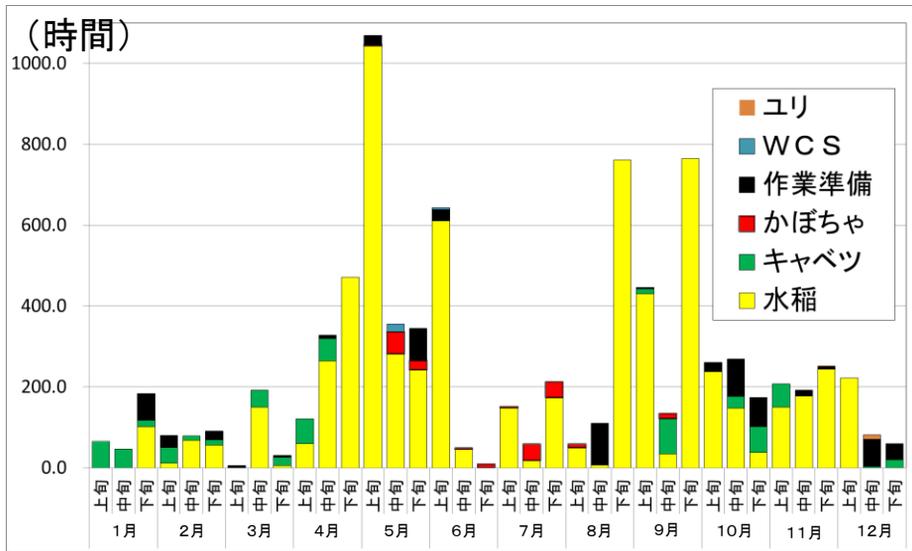
- 売上目標を目指す
- 作型、作目を検討する

提案の背景

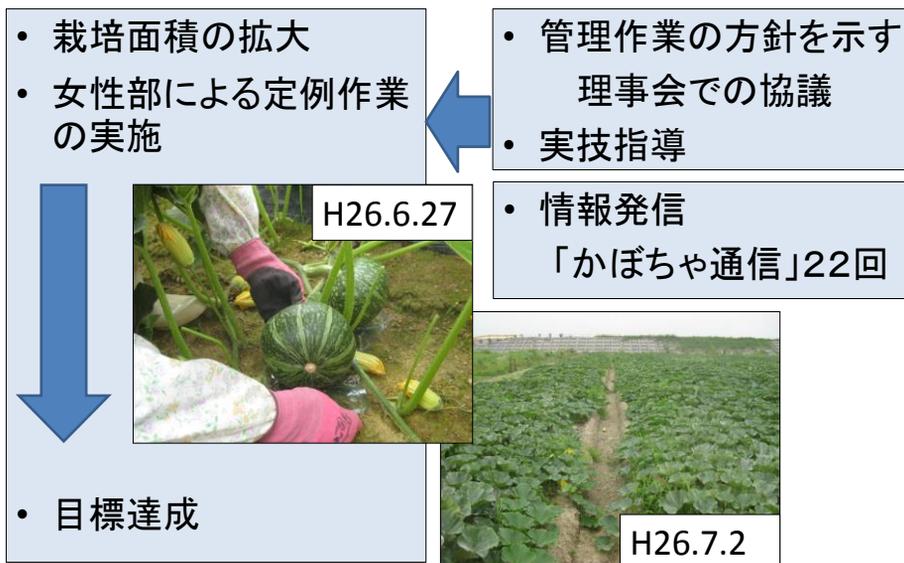
- 継続した管理の必要性
- 作業人員の手配困難
- 田植作業との競合

- 成績確認、問題点の検討、新たな提案の検討

(農)松屋の旬別労働時間(H24)



活動の内容(かぼちゃ3年目)



かぼちゃ通信 第22号

JA下関東部営農経済支部、下関農林事務所農産部

かぼちゃの成績です

祝 目標達成
目標の7.2万円を大幅に上回りました。

合計 90万円

【内訳】 夏かぼちゃ = 小計 8.8万円 + 宇部大用農業 4.6万円 + 全農 3.1万円 + 双葉 1.1万円

	宇部大用農業			全農			双葉		
	販売金額 (円)	個数 (個)	単価 (円/個)	販売金額 (円)	個数 (個)	単価 (円/個)	販売金額 (円)	個数 (個)	単価 (円/個)
SL	47,800	190	252	4,000	14	285	31,200	132	236
L	145,000	690	210	281,450	747	350	65,000	427	152
M	84,000	1,012	83	43,050	123	350	10,000	126	79
S	55,200	1,012	55			1,200	22	55	
小計	466,000	3,704	123	309,400	884	350	107,400	707	152

定植本数 2640本
栽培面積 88a
単収 78玉/10a
出荷 604玉/10a
100,352円/10a

4月23日定植

【内訳】 秋かぼちゃ 小計 2万円

全農出荷が350円/玉と高く、目標達成に貢献しました。
大玉ほど、単価が高くなりました。
秋かぼちゃは、収穫玉数が少なく、小玉でした。

6月17日～27日マット敷き

7月21日出荷を待つ

※双葉出荷分の規格は、記載無いため推測 (産地は全て現地の仕切り産地です。)

かぼちゃ通信 第11号

JA下関東部営農経済支部、下関農林事務所農産部

ツルが伸び、着果してきました

目標 72.2万円

6月9日(月)
伸びたツルを反対側に振り向けます。これでスッキリ

6月17日(火)
女性部の活動日です。

かぼちゃ畑らしくなってきました。何となく生育量を確保しています。

早ずりと落果しやすくなるので正産させます

①ツル先に追肥をしました。(14株を15kg/10a、N産分2kg/10a程度)
②収穫のツルを摘み、畝の中央に振り向けました。
③ソフトボール大の玉に、マットを敷きました。

秋作を考えたほうが良さそうです

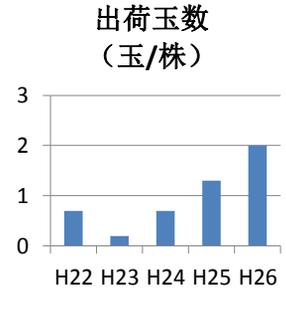
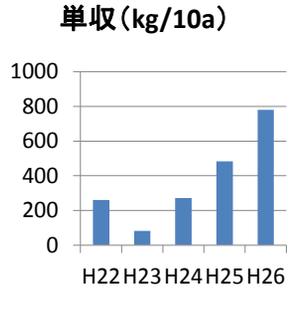
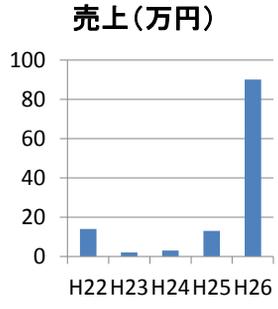
マット敷きの目安 (今年の秋作の確率)
⇒ 生育の良い畝・・・1畝1.0畧でマット3.00畧程度 (他の果実も含めて収穫)
生育の悪い畝・・・1畝1.0畧でマット1.00畧程度 (他の果実も含めて収穫)

今後の予定

- ・マット敷き、摘果、追肥 (7月中旬に肥切れするはずですが)
- ・収穫 (産果から45～50日、7月末～8月上旬頃です)、貯蔵、出荷

かぼちゃの成績

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
売上 (万円)	14	2	3	13	90
単収 (kg/10a)	260	83	272	484	780
出荷玉数 (玉/株)	0.7	0.2	0.7	1.3	2.0

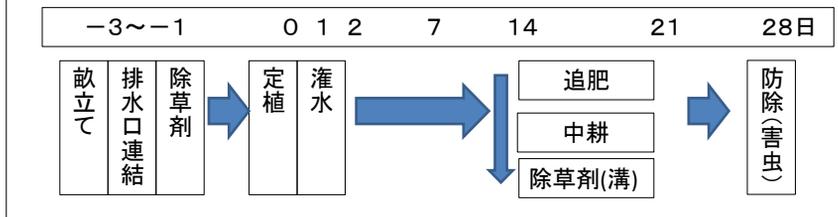


活動内容(キャベツ1年目)

- 指導内容
- 畝立て、排水溝の設置
- 定植機の調整
(株間、条間、植付け深さ)
- 灌水、除草、追肥、防除



主要な管理作業の流れ



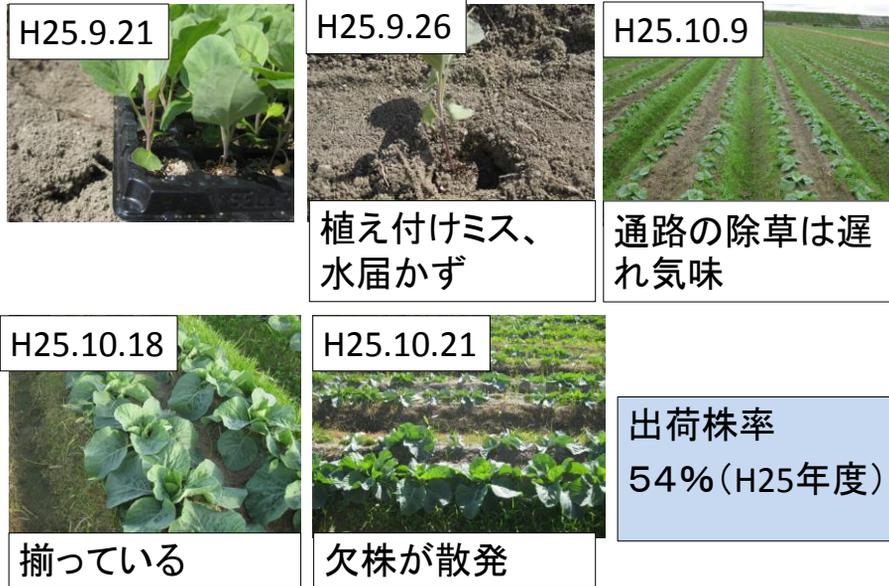
活動内容(キャベツ1年目) 成績指標の提示

- 実栽培面積
- 定植本数
- 出荷重量
- 出荷玉数
- 販売金額
- 出荷単収
- **出荷株率**
- 単価

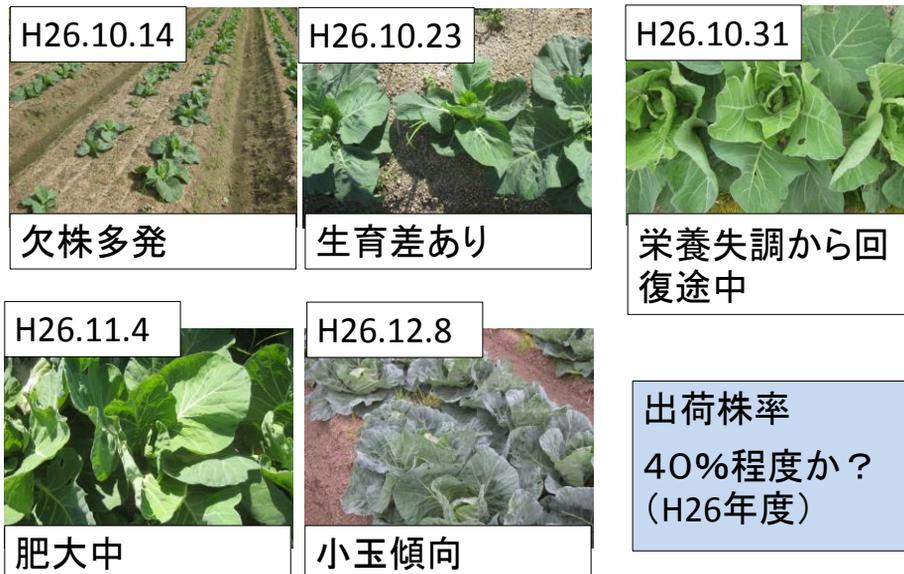
規格	秀				優				計
	3L	2L	L	M	3L	2L	L	M	
12月	25	30							55
1月	10	226	45						281
2月	29	197	63				18	7	314
3月		14	8			3	28		53
合計	64	467	116	0	0	3	46	7	703
1箱玉数	6	8	10	12	6	8	10	12	
出荷玉数	384	3,736	1,160	0	0	24	460	84	5,848

$$\begin{aligned} \text{出荷株率} &= \text{出荷玉数} \div \text{定植本数} \\ &= 39\% (\text{H24年度}) \end{aligned}$$

活動内容(キャベツ2年目)

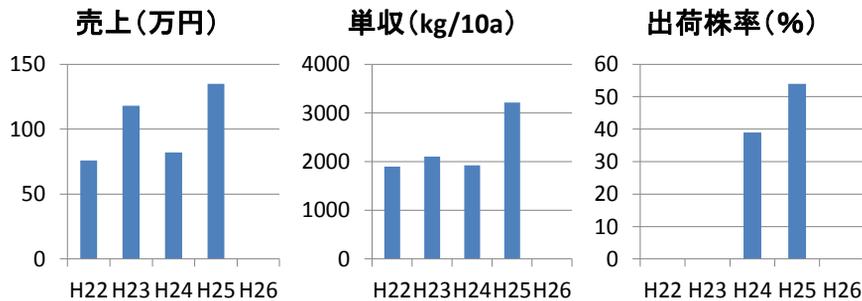


活動内容(キャベツ3年目)



キャベツの成績

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
売上 (万円)	76	118	82	135	
単収 (kg/10a)	1900	2100	1926	3215	
出荷株率 (%)	—	—	39	54	



普及活動の成果

- かぼちゃの販売目標の達成
目標72.2万円 H26実績90万円
- 新たな複合経営体制の検討開始
水稲作業との競合回避
かぼちゃ縮小、キャベツ増反、新規作物の検討
- キャベツの栽培体系の確立
作業手順の定着
各種作業の精度向上が課題

今後の普及活動に向けて

園芸作物導入のための活動視点

- 技能向上のための機会づくり
- 管理責任者の育成と組合員の技術向上をセットで行う
- 各種作物の作業日程の事前検討、競合回避